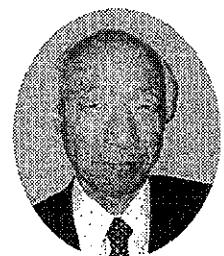


中經論壇

経営支援NPOクラブ理事

中谷 兼武



コロナを正しく恐れる

数字で示すことは、正確な情報伝達において重要なことである。数字は、客観性と眞体性を持つていると認識され、いるからである。しかし、数字の扱い方によつては、伝える内容の印象がかなり変わることがある。この原稿を書いている今日、北海道で1日の新型コロナ感染者が200人を超えたことで、コロナ感染第3波襲来として、危機感が高まっているとの報道がな

連日、新聞、TVなどにより、国内の新型コロナウイルス感染者情報として、国内感染者数10万8千人、死者数1800人（11月10日現在）と、絶対数が報道され、私達は新型コロナへの恐怖感、危機感を抱かせられている。この数字の力により、新型コロナウイルス感染予防として、休校や外出自粛などの政策が日本国民に受け入れられ

感染比率や統計的数字も把握を

される。日常生活で報道され
る数値に一喜一憂することが
多いが、絶対値だけではなく、
比率や統計的数字などでも事
実・事象を把握し、コロナ禍
を正しく恐れぬことが重要と
思われる。

一方、感染者数を
比率表示で表せばど
うだろう?。コロナ
感染者数=人口1千
人当たり1人、死亡
者数=10万人当たり2
人、死亡率=0・2
%と表示された場合
の我々の受け取り方
の印象は大分異なる。
多くの人は恐れるに
及ばずとなり、自肅
生活のあり方も変わ
るかも知れない。

率など)の表示方法により、我々国民の受け止め方が異なる場合が多い。数字の魔力と言えよう。

スウェーデンでは、科学的エビデンス、数値的エビデンスに基づき、「国民が長期に耐えられる、非ロックダウン政策を国民の賛同を得て推進しており、世界の注目を浴びている。コロナ感染波再襲来の歐州で、スウェーデンは感染数も低減傾向にあり、コロナ感染に対する懸念が和らいでいるようである。